

「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」

ニュース 15

発行：「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」 広報委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階

TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180

E-mail eco-texj@k9.dion.ne.jp

URL: www.eco-texj.co.jp

2004年

6月21日

発行

向夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は「エコテックス (CSM-2000) 標準研究フォーラム」に対して、格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

第12回『セミナー』では、社会的責任に関して事例を含めて説明させていただき、皆様にCSM-2000に関するご理解を深めて頂きました。

第13回『セミナー』では、
安全衛生・健康をテーマと致します。
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第13回『セミナー』のご案内

日時：7月23日（金曜日）午後2時～6時（5時から懇親会）

場所：エコテック・ジャパン株式会社

テーマ

- ① 安全衛生・健康
- ② その他

今回は、前回（1月23日）お配りまたはお送りしました資料「**SYSTEM GUIDELINES**」を使わせていただきますのでご持参願います。

ご出席の方のお名前を7月9日(金曜日)までに事務局にお知らせ下さい。
ご協力をお願い申し上げます。

今回の企業紹介は、

株式会社ダイドーリミテッド、テイコク株式会社様

をお届けいたします。



株式会社ダイドーリミテッド

当社は明治12年（1879年）の創業以来、常に己の技を磨き、お客様に喜ばれる商品の提供を心がけてまいりました。時代や市場環境の変化とともに取扱品目は変わっても、経営の基本、即ち「質」の経営を目指すということは、この125年の間に変わることなく受け継がれております。

当社グループの連結子会社は19社、持分法適用関連会社は2社あり、取り扱い品目や顧客は各部門により異なっておりますが、グループを通して「お客様第一」「品質本位」の基本を共有して事業運営に当たっております。



会社概要

| | |
|------|---|
| 本社 | 〒101-8619 東京都千代田区外神田3-1-16 |
| TEL | 03-3257-5050(代表) |
| FAX | 03-3257-5051 |
| 代表者 | 代表取締役社長 武井 勇 |
| 創業 | 1879年 |
| 設立 | 1949年10月17日 |
| 資本金 | 3,916,878,706円(2004年3月末現在) |
| 売上高 | (単体) 54億2500万円(2004年3月期) (連結) 305億3300万円(2004年3月期) |
| 従業員数 | (単体) 69名(2004年3月末現在) (グループ) 1,923名(2004年3月末現在) |

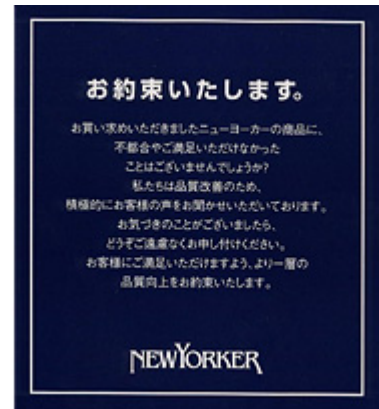
当社はエコテックス(CSM2000)標準研究フォーラムに会員として参加し、CSM2000のシステム導入認証を2004年4月現在、中国の2社3工場で取得しておりますが、これ以外の品質・安全への取り組みをご紹介します。

品質・安全への取り組み

品質保証制度について

創業以来、当社は「品質本位」を基本姿勢として製品作りを行ってまいりました。なぜなら、お客様からいただける品質への信頼は企業の信用へとつながるからです。当社は「信用」は企業の存続に重要な基盤の一つと考えています。

当社では衣料品製品事業において、1992年より品質保証制度を設け、商品に不備はなかったか、ご満足いただいているか、積極的にお客様のクレーム（苦情やご要望）に耳を傾けることでお客様満足と品質の向上に努めています。



グループ内では、ダイドーリミテッドと衣料品販売各社に「お客様相談」を置き、お客様からの商品に対する苦情や問い合わせ、修理依頼に対応するほか、店頭からも商品情報を収集、分析し、より一層お客様にご満足いただけるもの作りが出来るよう、各社、各部署に品質改善の提案を行い、品質の高い商品開発や事故の未然防止に努めています。

また、社員や販売スタッフが自信をもって製品作りや販売活動を行えるよう、これまでに蓄積された品質情報の開示、不良品の展示による勉強会の実施など教育活動のほか、クリーニング業界や服地メーカー、他社アパレルメーカーや小売り店、消費者団体などとの情報交換を行い、広聴・広報活動にも積極的に取り組んでいます。

当社は今後も「品質」を通じて企業の「信用」をより確かなものにしてまいります

以上、フォーラムニュースでの簡単な会社紹介とさせていただきます。
当社、(株)ダイドーリミテッドは下記のホームページを開設しておりますのご参照いただければ幸いです。また、ここにはリンク集も掲載されておりニューヨーカーブランドを初めとする当社の衣料製品事業製品販売部門のホームページもございますのでこちらもご参照ください。

<http://www.daidoh-limited.com/>

END

テイコク株式会社

〒700-0985

岡山県岡山市厚生町2-2-9

Tel:086-232-0311(代)

Fax:086-225-6691(代)

<http://www.fcc.co.jp/teikoku/>



足袋の製造から出発したわが社は、学生服・ユニフォームの総合メーカーへと時代と共に成長してまいりました。

文明、科学技術が大きく発展した20世紀から、21世紀に突入したいま、学校・職場・地域社会・日本国内そして世界とあらゆる場面で様々な変化が予測されますが、私たちがより一層心掛けていかなければならないのが、「常に基本を大切にしたい」という考えです。

すなわち、お客様の立場になって、優れた品質の価値ある商品づくりに全力で取り組み、真心を添えてお届けすることです。そしてこれからは「ころところのつながり」を大切にすることが、ますます重要になると思われまます。

環境の世紀といわれる21世紀、祖業ブランド「トンボ」の名のもとに自然環境保全に努め、住み良い社会の形成に少しでもお役にたてればと願っています。ご縁を重ねて128年。これからもお客様と共に夢を広げて参りたいと思ひます。



■ PLOFILE

| | |
|--------|---|
| 設 立 | 大正 13 年 5 月 10 日(創業 明治 9 年) |
| 資 本 金 | 1 億 8 千万円 |
| 年 商 | 175億円 |
| 代 表 者 | 代表取締役 落司量則 |
| 従業員数 | 720人 |
| 生産能力 | 7,000,000 点(各種外衣) |
| 支店所在地 | 東京 横浜 姫路 岡山 広島 福岡 |
| 生産拠点 | 玉野本社工場 岡山工場 柵原工場 |
| 物流拠点 | 玉野本社流通センター 紅陽台流通センター 第二藤田流通センター |
| 生産関連会社 | サントンボ服装(株) トンボソーイング(株) (株)ハートヒルズ トンボブラザーズ(株) |
| 販売関連会社 | 北海道トンボ服装(株) 秋田トンボ服装(株) 宮城トンボ(株) 福島トンボ(株) (株)トンボ繊維 関東トンボ(株) 関東トンボ 群馬支店(株) 茨城トンボ服装(株) (株)トンボメイト 大阪テイコク(株) 徳島トンボ服装販売(株) グローイング(株) 南九州トンボ(株) (株)マイク |
| 関連会社 | (株)テイコクインフォメーションシステム (有)テイコク保険サービス |

わたしたちテイコクは、全社員が地球の環境保全が最重要課題のひとつであると認識し、豊かで住み良い循環型社会の実現を目指し、社会に貢献するためにこんな活動をしています。

エコ製品製造販売とリサイクル

<エコ製品>

- ①再生PET使用制服、衣料
学校制服、体操服、ビジネスユニフォーム
新スクールウェア「セイフティベスト」



- ②非石油系繊維製品 生分解性繊維
③パッケージへの配慮 ケナフを箱に使用
シャツ衿キーパーは再生ペット使用

<リサイクル>

- ・着用後に回収してマットやフェルトにして再利用。
- ・ポリエステル製の循環リサイクルファスナーやボタンに再生(エコログリサイクリングネットワーク)
- ・ポリエステルの固形燃料化
工場の燃料として使用

環境教育支援

<エコキットを無償提供>

トンボリサイクルキット(再生ペットボトルリサイクル・マテリアルリサイクル)キットを差し上げています。環境教育でお使いいただく学校に差し上げています。



<買い物袋用残布の無償提供>

1999年からはじめた残布の家庭科教材としての提供すでに高校23校、中学校18校、小学校2校で利用いただいています。茨城県立並木高校では買い物袋以外にも鍋つかみなど作っていただいています。



<スクールビオトープ作りの支援>

3年前から社内にはトンボ池をつくり、管理しながら観察を続けています。また、社員でもビオトープ管理士の資格をとり、ビオトープづくりのお手伝いができるようにしています。

エコメセナ

<トンボ絵画コンクール協賛>

今年で18回目を迎えるトンボ絵画コンクール。昨年は74,734点の応募がありました。日本の絵画コンクールでは一番大きなコンクールになっています。



<スクールビオトープコンクール協賛>

2000年にスタートした全国学校ビオトープコンクール。2002年に第2回の発表会があり75校の応募の中から書類審査、現地審査をクリアした12校が発表を行いました。文部科学大臣賞には千葉市立稲毛第二小学校が選ばれました。



社員啓蒙

C.W.ニコル氏がテイコクのエコパイロットとして環境についてアドバイスをしています。1980年から長野県、黒姫山に住み自然とのかかわりを大切にしながら文化活動、執筆活動で活躍中。



<児島湖清掃参加>

トンボ環境委員会を中心に地域の環境を守るために、岡山県児島湖の清掃に協力をしています。



環境保護活動支援

<高知県 中村市 トンボ王国支援>

日本最後の清流と名高い四万十川流域に広がるトンボ王国。トンボの棲める美しい自然を守ろうと始まったトンボ王国。今では年間74種ものトンボが見られます。1985年から支援しています。

<茨城アサザプロジェクト支援>

日本で二番目に大きい霞ヶ浦、護岸工事などで失われた自然の復興とアサザによる水の浄化を行うためにNPO法人アサザネットワーク基金を核に地域住民、学校企業、行政の連携で100年後にトキを呼ぼうと壮大な環境保護運動が展開されています。

